

2017年9月20日(水)~12月10日(日)

Tafrish, West Persia (タフリッシュ、ペルシア西部) 20世紀中期

大人:800円 65歳以上・大学・高校生:500円 中・小学生:250円

休 館 日 月曜日 但し10月9日(祝・月)は開館、10月10日(火)を休館 入館料 開館時間

午前10時~午後4時30分(但し入館は午後4時まで)

| 特別講演会||10月22日(日) | 特別イベント||10月29日(日)、11月12日(日)

|新館レクチャー||11月3日(祝・金) ||美術に親しむ会||11月5日(日)

[アート・トーク(スライド解説)]9月24日、10月8·15日、11月19·26日、12月10日の各日曜日

ワークショップ 11月中の毎週日曜日

公益財団法人 HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

(問い合わせ先)

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1 TEL.FAX.078-851-6001 http://www.hakutsuru-museum.org/

(大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)

- ○阪神御影駅、JR住吉駅から 市バス38系統渦森台行 「白鶴美術館前」下車
- ○阪急御影駅から北東約1km (徒歩15分)
- ○阪神高速道路3号神戸線、 大阪方面: 魚崎出口から1.5km 姫路・明石方面:摩耶出口から6km
- ○無料駐車場あり(大型バスも可)



白鶴美術館の中国陶磁器

一寿福の浩形・明時代作品を中心に一

当館コレクションの柱のひとつとなっている中国陶磁器。その質の高さは世界的 に知られており、これまでもその優品の数々を公開して参りました。

今回は、陶磁器コレクションを時代で二分し、第一弾として、特に、明時代の作 品を中心に、元時代以降清時代までの作品を展示致します。

中国陶磁器史上、明時代は、五彩の登場に象徴されるように、色絵付の絵画 的な装飾により、器面が一気に華やかになった時代です。色数は未だ限定的ながら、 実用品としての強度を持ちつつ、器面をキャンバスに様々な画を多彩に描写する自 由を得た時代だったのです。

文様は吉祥を示すものが多く、例えば、金襴手の作品に隙間なく描きこまれる 七宝繋ぎ・毘沙門繋ぎ、或いは瓔珞文や牡丹唐草文に獅子図、八卦文や八仙人 図など、かつて宗教的イメージのなかで見受けられたモティーフも、明時代陶磁器 の器面上、人びとを寿ぐ文様として華やかに描き出されています。

なお、この展示では、上記、明時代の五彩・金襴手、染付の名品から、これま で公開する機会の少なかった清時代陶磁一シンプルかつ洗練された鼎・管耳壺な どの青銅器写しや白磁・染付まで一、各時代の美と技をご覧いただこうと思い ます。

また、同時代の作品や、観音図・羅漢図など民間信仰のなかで吉祥的イメージ となった図像なども合わせて展示いたします。

第二弾「白鶴美術館の中国陶磁器 一宋時代作品を中心に一」は、2019年春季展示の展示テーマ として開催を予定致しております。

文化の懸け橋 ーペルシアと絨毯ー

ペルシアはイランの古名ですが、かつては、西アジアだけでなく、中央アジアや 現在の中国・新疆ウイグル自治区等の地域にもペルシア系(イラン系)の言語を 使い、文化を有する人々が多数おりました。彼らは、文物を生み出すだけでなく、 東西交易の実際の担い手となって文化の伝達に大きく貢献しました。そうした人々 によってやがて作られる絨毯には、歴史の波を越えて残ってきた、様々な土地由来 の要素が複雑に織り込まれています。本展覧会では、ペルシアの文化と歴史を辿り、 白鶴美術館所蔵のペルシア絨毯に見られる各モティーフのルーツを探ります。



モフタシャム カシャン



セラピ、ペルシア北西部 19世紀後期



クチャン、ペルシア東部 20世紀中期

白鶴美術館 秋季展



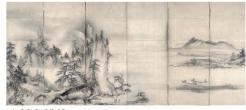
「金襴手瓢形大瓶」 明時代



「五彩龍文尊形瓶」



「魚籃観音図」 狩野雅楽助筆 展示期間(初公開) 10/22(日)~11/11(土)



「四季山水図屛風」(左隻) 伝周文筆 室町時代 展示期間:9/20(水)~10/21(土)



「金箋春秋図屏風」(左隻) 田能村竹田筆 江戸時代 展示期間:11/12(日)~12/10(日)

特別講演会

時:10月22日(日)午後1時~3時30分

題:「「何仙姑(かせんこ)」はどこからきたのか?」

師:国立民族学博物館名誉教授 杉村 棟 氏

談:杉村 棟 氏 × 兵庫県立陶芸美術館副館長 弓場 紀知 氏 (午後2時15分~3時30分)

特別イベント 日 時: A.10月29日(日)/B.11月12日(日)

時間はいずれも ①午後0時30分~2時 / ②午後2時30分~4時 テーマ:「煎茶体験 -中国陶磁器にあそぶサロン」(煎茶席・講義) 講 師:一茶庵宗家 佃 一輝 氏・佃 梓央 氏 (講師補助:甲南大学学生) 参加方法: 申込制・参加有料1,500円 (入館料を含む) 1回15名

*ご参加希望は往復ハガキのみ受け付けます。住所・氏名・年齢・ 希望日時 A①・A②・B①・B② を明記の上、当館宛にお送りく ださい。締め切りは、9月29日 (消印有効) とします。応募多数 の場合は抽選とさせて頂き、10月10日までにご返送致します。

新館レクチャー 日 時:11月3日(祝・金)午後2時~3時30分

ーマ:「イラン民族と絹の道 一 文と物から見る東西交渉 一 」

講 師:京都大学大学院教授 吉田 豊 氏

美術に親しむ会 日 時:11月5日(日)午後1時30分~3時30分

-マ:「美術のなかの吉祥 — 寿ぎのイメージ — 」

講 師: 当館学芸員3名

'ート・トーク 日

時:9月24日、10月8・15日、11月19・26日、12月10日の 各日曜日 午後2時~3時

-マ:「美術を愉しむ」(展示品の解説)

当館学芸員によるスライド解説

日 時:11月中の毎週日曜日 午後1時~4時

テーマ:「クルッと反転! 紙が要のミニ屏風」

指導員:甲南大学学生